

(様式第 9)

千大財第 456 号
平成 24 年 10 月 3 日

関東信越厚生局長 殿

国立大学法人千葉大学長
齋 藤

千葉大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務
に関して報告します。

記

1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照（様式第 10）

2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照（様式第 11）

3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	56	人
--------	----	---

（注）前年度の研修医の実数を記入すること。

4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照（様式第 12）

5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照（様式第 13）

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	256人	368人	532.9人	看護補助者	71人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	8人	26人	31.4人	理学療法士	15人	臨床検査技師	67人
薬剤師	44人	13人	56.8人	作業療法士	5人	衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	24人	1人	25.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	774人	34人	803.9人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	2人	4人	5.7人	栄養士	3人	その他の技術員	49人
歯科衛生士	1人	2人	2.5人	歯科技工士	0人	事務職員	254人
管理栄養士	7人	3人	10.0人	診療放射線技師	44人	その他の職員	22人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	727.7 人	13.7 人	741.4 人
1日当たり平均外来患者数	1875.1 人	65.8 人	1940.9 人
1日当たり平均調剤数	入院：667.9剤 外来：482.6剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
顎顔面補綴	0人
神経芽腫の遺伝子検査	5人
末梢血単核球移植による血管再生治療	18人
インプラント義歯(1顎につき)	0人
インプラント義歯 支持連結装置材料加算(1組につき)	0人
インプラント義歯 上部構造材料加算(1歯につき)	0人
超音波骨折治療法	0人
神経変性疾患の遺伝子診断	12人
経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	0人
実物大臓器立体モデルによる手術支援	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
NKT細胞用いた免疫療法 肺がん	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	322人	・膿疱性乾癬	28人
・多発性硬化症	291人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	528人	・原発性胆汁性肝硬変	315人
・全身性エリテマトーデス	1330人	・重症急性膵炎	26人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	65人
・再生不良性貧血	132人	・混合性結合組織病	247人
・サルコイドーシス	764人	・原発性免疫不全症候群	26人
・筋萎縮性側索硬化症	51人	・特発性間質性肺炎	41人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	673人	・網膜色素変性症	539人
・特発性血小板減少性紫斑病	274人	・プリオン病	4人
・結節性動脈周囲炎	79人	・肺動脈性肺高血圧症	166人
・潰瘍性大腸炎	681人	・神経線維腫症	46人
・大動脈炎症候群	76人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	54人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	9人
・天疱瘡	175人	・慢性血栓性肺高血圧症	43人
・脊髄小脳変性症	249人	・ライゾーム病	6人
・クローン病	247人	・副腎白質ジストロフィー	4人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	21人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	306人
・悪性関節リウマチ	105人	・脊髄性筋萎縮症	55人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	658人	・球脊髄性筋萎縮症	31人
・アミロイドーシス	81人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	79人
・後縦靭帯骨化症	467人	・肥大型心筋症	184人
・ハンチントン病	16人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	54人	・ミトコンドリア病	6人
・ウェゲナー肉芽腫症	148人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	11人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	167人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	88人	・黄色靭帯骨化症	74人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	29人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	786人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・広範囲顎骨支技型装置埋込手術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年80回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 37 例 / 部検率 8.90%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝細胞癌に対する血管新生阻害薬の治療効果予測因子の検討	横須賀 収	消化器内科	¥5,460,000	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
アンドロジェン受容体トランスジェニックマウスによる非アルコール性脂肪肝の病態解明	今関 文夫	消化器内科	¥1,170,000	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
肝癌幹細胞におけるエピジェネティックな制御機構の解明と新規治療法の確立	金井 文彦	消化器内科	¥1,300,000	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
肝癌、膵癌におけるアンドロジェンレセプターシグナルの解析	神田 達郎	消化器内科	¥1,170,000	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
消化管癌遺伝子異常の網羅的解析	多田 素久	消化器内科	¥1,820,000	補 文部科学省 委 科学研究費補助金
肝癌幹細胞におけるエピジェネティックな制御機構の解明と新規治療法の確立	千葉 哲博	消化器内科	¥14,950,000	補 H23年度科学研究費 委 補助金
膵液中VEGFをマーカーとした膵悪性腫瘍の早期診断法の確立	太和田 勝之	消化器内科	¥2,340,000	補 H23年度科学研究費 委 補助金
老化が慢性腎臓病の発生・進展に及ぼす影響と機序の解明	濱野 有紀	腎臓内科	¥1,690,000	補 H23年度科学研究費 委 補助金
新規白血球表面抗原LR11の白血球および正常造血における役割の解明	武内 正博	血液内科	¥1,500,000	補 文部科学省 委
医療技術実用化総合研究事業「バイオマーカー可溶性LR11による病的未分化細胞疾患の新規診断と標的治療の開発」	中世古 知昭	血液内科	¥4,000,000	補 厚生労働省 委
難治性多発性骨髄腫に対するbortezomib 維持療法による新たな同種移植療法の新規確立	中世古 知昭	血液内科	¥500,000	補 日本骨髄腫研究会 委 加納基金研究費補助金
肺高血圧症治療における遺伝薬理学の応用	田邊 信宏	呼吸器内科	¥800,000	補 文部科学省 委
COPDにおける全身性炎症の解析－喫煙が脂肪組織に誘導する炎症性反応について	笠原 靖紀	呼吸器内科	¥800,000	補 文部科学省 委
特発性肺線維症急性増悪特異的自己抗体	黒須 克志	呼吸器内科	¥1,000,000	補 文部科学省 委
肺動脈原発血管内肉腫の発症機序解明および造血幹細胞分離・臨床応用への可能性	坂尾誠一郎	呼吸器内科	¥500,000	補 文部科学省 委
慢性肺気腫症の病態解析とCD40抑制による新規治療法の開発	多田裕司	呼吸器内科	¥1,300,000	補 文部科学省 委
呼吸不全に関する調査研究	巽浩一郎	呼吸器内科	¥1,000,000	補 厚生労働省 委
肥満残存高血圧合併睡眠時無呼吸患者に対する防風通聖散及び大柴胡湯の治療効果の比較と病態生理の解明	巽浩一郎	呼吸器内科	¥300,000	補 厚生労働省 委
薬剤性肺障害における遺伝子マーカーに関する遺伝子学的検討等に係る研究	巽浩一郎	呼吸器内科	¥500,000	補 厚生労働省 委
びまん性肺疾患に関する調査研究	巽浩一郎	呼吸器内科	¥400,000	補 厚生労働省 委

計 20 / 174

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肺蛋白症の難溶性要因の解明と診断、治療、管理の標準化と指針の確立	巽浩一郎	呼吸器内科	¥200,000	補委 厚生労働省
「生体適合性ナノファイバーによる自己組織完全再生を目指した人工血管の開発」	石坂 透	心臓血管外科	¥800,000	補委 文部科学省
「インターロイキン-11を用いた新規心臓血管外科治療法の確立」	黄野皓木	心臓血管外科	¥2,100,000	補委 文部科学省
リン酸化蛋白をターゲットとした膵・胆道癌の早期診断および個別化治療への展開	宮崎 勝	肝胆膵外科	¥2,500,000	補委 文部科学省
消化器神経内分泌腫瘍の発生・進展機構の解明とそれを応用した分子標的治療の開発	宮崎 勝	肝胆膵外科	¥1,500,000	補委 文部科学省
粒子線治療有効性、適応、費用対効果に関する総合的研究	宮崎 勝	肝胆膵外科	¥900,000	補委 厚生労働省
がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)と公開の維持およびその在り方に関する研究	宮崎 勝	肝胆膵外科	¥1,350,000	補委 厚生労働省
血管新生を制御する細胞間シグナル分子調節による抗腫瘍療法、及び肝再生促進の試み	清水宏明	肝胆膵外科	¥1,000,000	補委 文部科学省
脂肪肝グラフト適応拡大へのリン酸化シグナルの解明と血管内皮前駆細胞を応用した戦略	吉留博之	肝胆膵外科	¥1,300,000	補委 文部科学省
癌源細胞に基づく原発性肝癌の多様性とマイクロRNA制御による新規治療法の開発	大塚将之	肝胆膵外科	¥1,300,000	補委 文部科学省
膵癌における癌幹細胞と間葉細胞の相互作用の解明とそれを応用した集学的治療法の開発	吉富秀幸	肝胆膵外科	¥3,640,000	補委 文部科学省
免疫療法による高度侵襲手術に対するリスク軽減のための治療戦略	古川勝規	肝胆膵外科	¥1,400,000	補委 文部科学省
阻血障害肝切除後の転写因子活性抑制に伴う肝再生遅延機序へのPin1の関与の検討	久保木知	肝胆膵外科	¥2,210,000	補委 文部科学省
肝細胞癌における Peroxisome proliferator-activated receptor gamma 発現が癌細胞増殖に及ぼす影響及び予後因子としての意義の検討	久保木知	肝胆膵外科	¥500,000	補委 公益信託外科学 研究助成金
放射線医学総合研究所 肝腫瘍臨床研究班	大塚将之	肝胆膵外科	¥150,000	補委 放射線医学総合 研究所
放射線医学総合研究所 肝腫瘍臨床研究班	吉留博之	肝胆膵外科	¥150,000	補委 放射線医学総合 研究所
膵癌における間質細胞-癌細胞相互作用によるEpithelial mesenchymal transition (EMT)の誘導を介した浸潤転移機構の解	吉留博之	肝胆膵外科	¥3,000,000	補委 日本消化器病 学会
プロテオミクスを使用した網羅的発現蛋白解析による膵癌転移、浸潤機構の解明	吉留博之	肝胆膵外科	¥1,000,000	補委 膵臓病研究財団
進行性前立腺癌に対する分子マーカーの同定と癌進展の分子機構の解明	市川智彦	泌尿器科	¥3,200,000	補委 日本学術振興会
限局性前立腺癌における予後予測因子としての新規バイオマーカーの開発	今本 敬	泌尿器科	¥900,000	補委 日本学術振興会

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
前立腺癌におけるタリニ1の機能解析およびテーラーメイド医療への応用	坂本 信一	泌尿器科	¥1,300,000	補委 日本学術振興会
癌・精巢抗原～腎細胞癌バイオマーカーの探索	巢山貴仁	泌尿器科	¥1,400,000	補委 日本学術振興会
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	市川智彦	泌尿器科	¥150,000	補委 厚生労働省
臨床試験研究経費 泌尿器腫瘍臨床研究班	市川智彦	泌尿器科	¥200,000	補委 放射線医学総合研究所
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	山本修一 (研究分担者)	眼科	¥3,000,000	補委 厚生労働省
網膜色素変性患者の遺伝子診断システム構築:基幹施設症例の大規模収集と原因変異解析	山本修一 (研究分担者)	眼科	¥130,000	補委 文部科学省
糖尿病網膜症の神経病変における小胞体ストレスの役割の解析	忍足俊幸	眼科	¥2,080,000	補委 文部科学省
眼内血管新生に対するVEGF-A165bの抑制効果	馬場隆之	眼科	¥1,430,000	補委 文部科学省
LIH網膜下注入CNVラットにおけるサリドマイド投与によるCNVの抑制効果	萩原章	眼科	¥2,210,000	補委 文部科学省
頭頸部癌への細胞免疫治療を用いたアジュバント療法のアプローチ	岡本 美孝	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥2,100,000	補委 文部科学研究費補助金
核酸医薬の併用による上顎新規治療法の確立に向けた基礎的研究	花澤 豊行	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥1,500,000	補委 文部科学研究費補助金
頭頸部扁平上皮癌の新規予後マーカー開発	堅田 浩司	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥2,100,000	補委 文部科学研究費補助金
頭頸部扁平上皮癌に対する抗腫瘍免疫応答を賦活する新規治療薬の開発	櫻井 大樹	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥1,200,000	補委 文部科学研究費補助金
骨形成蛋白(BMP)を用いた中耳再建の研究	杉本 晃	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥300,000	補委 文部科学研究費補助金
好酸球性副鼻腔炎の病態機序解明に対する真菌を用いたアプローチ	米倉 修二	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥1,200,000	補委 文部科学研究費補助金
アレルギー病態惹起における長期生存型抗体生細胞の形成および維持機構	稲嶺 絢子	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥1,200,000	補委 文部科学研究費補助金
免疫療法による花粉症予防と免疫療法のガイドライン作成に向けた研究	岡本 美孝	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥11,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金
ドコモ環境センサーによる花粉実測値およびオートGPS等位置情報を用いた花粉症症状検証	岡本 美孝	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥4,200,000	補委 受託研究(鳥居)
スギ花粉症における免疫療法の効果を予測するための生体由来因子の測定	岡本 美孝	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	¥801,500	補委 共同研究(NTTFコモ)
独自開発ウイルス成分とのハイブリッドリポソームによる癌の新規分子標的治療薬の開発	丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外科	¥19,630,000	補委 文部科学省

計 60 / 174

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
独自開発癌特異的吸着性ハイブリッド型リボソームを用いた画像診断用強化造影剤の開発	鵜澤 一 弘	歯科・顎・口腔外科	¥4,290,000	補委 文部科学省
Lin7C-CASK-β cateninネットワーク制御による癌転移・浸潤抑制法	坂本 洋 右	歯科・顎・口腔外科	¥3,510,000	補委 文部科学省
microRNA阻害による放射線耐性遺伝子ICAM発現抑制による強化放射線治療法	丹沢 秀 樹	歯科・顎・口腔外科	¥1,690,000	補委 文部科学省
EGFR/FGFRデュアルインヒビターを用いた放射線増強療法の開発	丹沢 秀 樹	歯科・顎・口腔外科	¥1,700,000	補委 文部科学省
AKRインヒビターを用いた頭頸部癌放射線化学療法効果増強法の開発	椎葉 正 史	歯科・顎・口腔外科	¥1,700,000	補委 文部科学省
PDE3Bインヒビターを用いた抗癌剤治療増強法の開発	鵜澤 一 弘	歯科・顎・口腔外科	¥1,700,000	補委 文部科学省
統合失調症の再発予防の確立に関する研究	伊豫 雅 臣	精神神経科	¥1,200,000	補委 厚生労働省
医療観察法の運用面の改善に関する研究	伊豫 雅 臣	精神神経科	¥1,450,000	補委 厚生労働省
「乱用薬物による薬物依存の発症メカニズム・予防・診断及び治療法」についての研究	伊豫 雅 臣	精神神経科	¥1,450,000	補委 厚生労働省
治療抵抗性統合失調症に対する治療戦略のためのデータベース構築に関する研究	伊豫 雅 臣	精神神経科	¥500,000	補委 厚生労働省
治療抵抗性統合失調症に対する抑肝散の有用性と安全性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験に関する研究	伊豫 雅 臣	精神神経科	¥1,500,000	補委 厚生労働省
発達障害の診断および治療法開発に関する臨床研究」に於ける「注意欠陥多動性障害の新規治療薬開発に関する研究	伊豫 雅 臣	精神神経科	¥1,800,000	補委 厚生労働省
放射線による認知機能障害を回避する転移性脳腫瘍の治療法に関する研究	佐伯直勝	脳神経外科	¥150,000	補委 厚生労働省
腫瘍融解型センダイウイルスを用いた脳腫瘍特異的な免疫遺伝子治療	岩立康男	脳神経外科	¥1,100,000	補委 日本学術振興会
中枢神経腫瘍臨床研究班	岩立康男	脳神経外科	¥300,000	補委 放射線医学総合研究所
軸索興奮性測定を用いた糖尿病性神経障害、慢性疼痛の客観的評価と至適治療の確立	桑原 聡	神経内科	¥3,120,000	補委 文部科学省
TDP-43過剰発現による孤発生ALSのサルモデル作製	桑原 聡	神経内科	¥1,300,000	補委 文部科学省
胃電図を用いたパーキンソン病の超早期診断法の確立	朝比奈 正 人	神経内科	¥520,000	補委 文部科学省
視神経脊髄炎患者血清中抗アクアポリン4抗体の抗原決定部位の解明	森雅 裕	神経内科	¥780,000	補委 文部科学省
過活動膀胱、間質性膀胱炎に対する低反応レベルレーザー照射療法の有用性に関する検討	内山 智 之	神経内科	¥2,860,000	補委 文部科学省

計 80 / 174

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
筋萎縮性側索硬化症の持続性ナトリウムチャンネル障害と神経細胞死に関する生理学的研究	金井数明	神経内科	¥3,380,000	補委 文部科学省
クロー深瀬症候群の病態機序解明と再発予防に対する新規治療法開発	三澤園子	神経内科	¥1,820,000	補委 文部科学省
正常とパーキンソン病の高位排尿中枢の神経活動と神経伝達物質—脳深部刺激療法の効果	山本達也	神経内科	¥650,000	補委 文部科学省
アクアポリン蛋白能動免疫による視神経脊髄炎モデルの開発	鷗沢顕之	神経内科	¥1,430,000	補委 文部科学省
免疫性神経疾患に関する調査研究班	桑原聡	神経内科	¥1,200,000	補委 厚生労働省
神経変性疾患に関する調査研究班	桑原聡	神経内科	¥1,300,000	補委 厚生労働省
多発性硬化症に対する新規分子標的治療法の開発	桑原聡	神経内科	¥1,800,000	補委 厚生労働省
多発性硬化症に対する新規分子標的治療法の開発	森雅裕	神経内科	¥900,000	補委 厚生労働省
スモンに関する調査研究班	朝比奈正人	神経内科	¥900,000	補委 厚生労働省
特発性後天性全身性無汗症の病態解析及び治療指針の確定	朝比奈正人	神経内科	¥500,000	補委 厚生労働省
難治性ニューロパシーの診断技術と治療法に関する研究	桑原聡	神経内科	¥800,000	補委 厚生労働省
Crow-Fukase症候群に対するサリドマイドの多施設共同、ランダム化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間比較試験及び長期安全性試験	桑原聡	神経内科	¥82,024,000	補委 厚生労働省
治験の実施に関する研究[サリドマイド]	桑原聡	神経内科	¥1,400,000	補委 厚生労働省
治験の実施に関する研究[酢酸リニュープロレリン(追加第Ⅱ相試験)]	金井数明	神経内科	¥300,000	補委 厚生労働省
遺伝性女性化乳房の実態把握と診断基準の作成	生水 真紀夫	生殖機能病態学	¥13,000,000	補委 厚生労働省
本邦における反復胎状奇胎症例の実態把握と確定診断法の開発	生水 真紀夫	生殖機能病態学	¥1,000,000	補委 厚生労働省
妊婦及び授乳婦に係る臨床及び非臨床のデータに基づき、医薬品の催奇形性リスクの評価見直しに関する研究	生水 真紀夫	生殖機能病態学	¥100,000	補委 厚生労働省
胎盤のアロマターゼが性差発現に果たす役割についての個体発生・系統発生の研究	生水 真紀夫	生殖機能病態学	¥7,200,000	補委 文部科学省
子宮体癌に対するメホルミンの増殖抑制効果:作用機序の特定と臨床応用に向けた研究	三橋 暁	生殖機能病態学	¥700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
卵巣子宮内膜症のがん化に関与する腫瘍間質細胞の解析	山澤 功二	生殖機能病態学	¥100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
マウス腎被膜下移植法によるヒト子宮内膜癌の新しい実験モデルの作製とその応用	加藤 一喜	婦人科	¥1,100,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
免疫染色による胎状奇胎妊娠後続発症リスクの評価	木原 真紀	婦人科	¥1,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
新しいラット脳性麻痺モデルを使った黄体ホルモンの脳障害回避効果の検証	生水 真紀夫	生殖機能病態学	¥1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
侵入奇胎の成因に関与する遺伝子の探索	碓井 宏一	生殖機能病態学	¥2,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
mTORシグナル伝達経路を標的とした、新たな子宮筋腫治療法の開発	石川 博士	生殖機能病態学	¥1,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
重粒子治療婦人科腫瘍臨床研究班	生水 真紀夫	生殖機能病態学	¥300,000	補委 科学技術庁
卵巣子宮内膜症の癌化に関与する腫瘍間質細胞の役割解析	山澤 功二	婦人科	¥300,000	補委 財団法人ちば県民 保健予防財団
再発卵巣がんに対するゲムシタピン＋イリノテカン併用療法－臨床第Ⅰ／Ⅱ相試験	楯 真一	生殖機能病態学	¥1,000,000	補委 財団法人がん集学的 治療研究財団
神経芽腫のがん幹細胞を標的とする腫瘍溶解ウイルスを用いた新規治療開発研究	吉田英生	小児外科	¥1,200,000	補委 文部科学省
小児悪性個形腫瘍に対するNKT細胞免疫系を用いた新規免疫細胞療法の開発研究	菱木知郎	小児外科	¥1,400,000	補委 文部科学省
胆道閉鎖症におけるサイトカイン環境の解析	齋藤 武	小児外科	¥1,100,000	補委 文部科学省
小児等の特殊患者に対する医薬品の適正使用に関する研究	吉田英生	小児外科	¥255,000	補委 厚生労働省
大学病院総合診療外来におけるかかりつけ医導入効果の検討	高田俊彦	総合診療部	¥1,900,000	補委 厚生労働省
平成22年度課題可決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業「オンサイト用高感度インフルエンザ型別確定診断器の開発」	佐藤武幸	感染症管理治療部	¥4,121,842	補委 経産省
臨床研究の国際化に向けて研究組織のハブ機能の拡充と人材育成に関する研究	花岡 英紀	臨床試験部	¥113,250,000	補委 厚生労働省
計算解剖モデルに基づく診断支援	瀧口裕一	臨床腫瘍部	¥500,000	補委 文部科学省
癌幹細胞をターゲットにした肺癌分子標的治	瀧口裕一	臨床腫瘍部	¥1,100,000	補委 文部科学省
上皮成長因子受容体下流シグナル系の個人差	堺田恵美子	臨床腫瘍部	¥700,000	補委 文部科学省
重篤かつ予測困難な抗血小板薬誘発肝障害を事前回避するシステムの基盤構築と運用	有吉 範高	薬剤部	¥1,690,000	補委 日本学術振興会
調剤過誤防止の観点から最適な医薬品採用評価システムの構築	大久保正人	薬剤部	¥400,000	補委 日本学術振興会

計 120/174

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
直腸炎型・遠位型潰瘍性大腸炎患者に対するメサラジン坐剤の至適用量の検討	高塚 博一	薬剤部	¥500,000	補委	日本学術振興会
Synbioticsがリワマテにおける短鎖脂肪酸およびIL-17産生に及ぼす影響	竹田真理子	薬剤部	¥600,000	補委	日本学術振興会
ST合剤内服薬による副作用発現に対する危険因子の検討と適正使用への貢献	林 彰子	薬剤部	¥300,000	補委	日本学術振興会
慢性疼痛患者におけるフェンタニルパッチの忍容性に影響を及ぼす要因の検討	土屋 晃三	薬剤部	¥300,000	補委	日本学術振興会
白内障手術後の経口抗生物質中止による術後眼内炎発生率への影響	山口 洪樹	薬剤部	¥500,000	補委	日本学術振興会
ヒートショックプロテインを用いた新規食道癌ワクチン療法の開発	阿久津 泰典	食道・胃腸外科	¥900,000	補委	日本学術振興会
重粒子線がん治療臨床研究班 上部消化器腫瘍臨床研究班	松原久裕	食道・胃腸外科	¥200,000	補委	放射線医学総合研究所
重粒子線がん治療臨床研究班 下部消化管腫瘍臨床研究班	松原久裕	食道・胃腸外科	¥200,000	補委	放射線医学総合研究所
重粒子線がん治療臨床研究班 上部消化器腫瘍臨床研究班	阿久津泰典	食道・胃腸外科	¥100,000	補委	放射線医学総合研究所
重粒子線がん治療臨床研究班 下部消化管腫瘍臨床研究班	宮内英聡	食道・胃腸外科	¥100,000	補委	放射線医学総合研究所
食道癌に対する新規癌抗原ペプチドを用いたワクチン療法の開発	松原久裕	食道・胃腸外科	¥1,000,000	補委	東京大学医科学研究所
シスプラチン(CDDP)治療効果遺伝子診断キットの開発	松原久裕	食道・胃腸外科	¥1,350,000	補委	高信化学
頸部下胃内視鏡的粘膜下層剥離術中の患者唾液アミラーゼによる術中管理システムの構築	上里 昌也	食道・胃腸外科	¥2,200,000	補委	日本学術振興会
miR-203を介した食道癌の増殖・浸潤・転移の発現・機能解析	森 幹人	食道・胃腸外科	¥1,300,000	補委	日本学術振興会
食道癌における足場非依存性増殖と上皮間葉移行の機序解明	松原久裕	食道・胃腸外科	¥1,500,000	補委	日本学術振興会
早期診断マルチバイオマーカー開発(血中エクソソームの定量プロテオーム解析による新規腫瘍マーカーの開発における検体収集、候補分子評価)	松原久裕 (分担研究者)	食道・胃腸外科	¥909,091	補委	文部科学省 受託研究(JST・松原)
戦略的臨床検体活用による消化器癌研究拠点	松原久裕	食道・胃腸外科	¥1,000,000	補委	千葉大学COEスタートアッププログラム
拡散強調MRIによる食道癌補助療法早期効果判定法と効果予測法の開発	首藤潔彦	食道・胃腸外科	¥900,000	補委	千葉大学 科研費 申請支援
遺伝子導入のない成熟膵腺房細胞のリプログラミングにおける遺伝子発現の包括的検索	鈴木一史	食道・胃腸外科	¥750,000	補委	日本臓器保存生物 医学会研究奨励賞
新規ナノ粒子のEPR効果を応用した食道癌に対する誘導温熱療法の開発	阿久津泰典	食道・胃腸外科	¥500,000	補委	平成23年度第5回中山 がん研究所消化器疾患助成金

共同研究
共同研究

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
癌転移臓器の幹細胞ニッチを標的としたホスト環境の外科的制御に関する基礎研究	榊原雅裕	乳腺・甲状腺外科	¥3,820,000	補委 文部科学省
可溶性LDL受容体ファミリーによる細胞骨格制御と新規の動脈硬化治療への応用	武城 英明	糖尿病・代謝 ・内分泌内科	¥4,290,000	補委 文部科学省
バイオマーカー可溶性LR11による病的未分化細胞疾患の新規診断と標的治療の開発	武城 英明	糖尿病・代謝 ・内分泌内科	¥65,000,000	補委 厚生労働省
LCAT遺伝子導入前脂肪細胞を用いた家族性LCAT欠損患者に対する新規治療法の開発	武城 英明	糖尿病・代謝 ・内分泌内科	¥48,302,000	補委 厚生労働省
肥満関連疾患のアジアと米国における遺伝疫学的検討とその対策に関する研究	武城 英明	糖尿病・代謝 ・内分泌内科	¥700,000	補委 厚生労働省
原発性高脂血症に関する調査研究	武城 英明	糖尿病・代謝 ・内分泌内科	¥1,500,000	補委 厚生労働省
特定検診・保健指導におけるメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出に関する横断・縦断研究	武城 英明	糖尿病・代謝 ・内分泌内科	¥450,000	補委 厚生労働省
肥満関連疾患のアジアと米国における遺伝疫学的検討とその対策に関する研究	齋藤 康	糖尿病・代謝 ・内分泌内科	¥450,000	補委 厚生労働省
生活習慣病形成におけるリンパ管システム破たん役割の解明	横手 幸太郎	糖尿病・代謝 ・内分泌内科	¥16,450,000	補委 文部科学省
ウエルナー症候群の病態把握、治療指針作成と新規治療法の開発を目的とした全国研究	横手 幸太郎	糖尿病・代謝 ・内分泌内科	¥32,500,000	補委 厚生労働省
糖尿病患者における心血管イベント発症に関する後ろ向きコホートに関する研究	横手 幸太郎 (分担研究者)	糖尿病・代謝 ・内分泌内科	¥700,000	補委 厚生労働省
早期老化症の病態解明とグローバルな診療ガイドライン策定へ向けた国際共同研究	横手 幸太郎	糖尿病・代謝 ・内分泌内科	¥500,000	補委 千葉大学
Th17細胞分化におけるIkarsファミリー分子の役割の解明	高取 宏昌	アレルギー・膠原病 内科	¥1,400,000	補委 文部科学科学研究費 補助金
IL-25による肺動脈炎・血管壁リモデリング発症機序の解明	池田 啓	アレルギー・膠原病 内科	¥1,400,000	補委 文部科学科学研究費 補助金
IL-21産生制御機構と自己免疫病態におけるIL-21産生細胞の役割の解明	中島 裕史	アレルギー・膠原病 内科	¥4,600,000	補委 文部科学科学研究費 補助金
重症喘息におけるT細胞サブセットの役割の解明と新規免疫療法開発に関する研究	中島 裕史	アレルギー・膠原病 内科	¥3,800,000	補委 文部科学科学研究費 補助金
BTLAによる免疫抑制機構の解明と免疫療法の開発	渡邊 紀彦	アレルギー・膠原病 内科	¥1,100,000	補委 文部科学科学研究費 補助金
末梢血単核球の網羅的遺伝子発現解析による関節リウマチに対するトシズマブの薬効予測と効果発現機序の解明	池田 啓	アレルギー・膠原病 内科	¥1,700,000	補委 厚生労働科学研究費 補助金

計 158 / 174

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
末梢血単核球の網羅的遺伝子発現解析による関節リウマチに対するトシリズマブの薬効予測と効果発現機序の解明	中島 裕史	アレルギー・膠原病 内科	¥400,000	補 委 厚生労働科学研究費 補助金
末梢血単核球の網羅的遺伝子発現解析による関節リウマチに対するトシリズマブの薬効予測と効果発現機序の解明	加々美 新一郎	アレルギー・膠原病 内科	¥400,000	補 委 厚生労働科学研究費 補助金
末梢血単核球の網羅的遺伝子発現解析による関節リウマチに対するトシリズマブの薬効予測と効果発現機序の解明	須藤 明	アレルギー・膠原病 内科	¥400,000	補 委 厚生労働科学研究費 補助金
末梢血単核球の網羅的遺伝子発現解析による関節リウマチに対するトシリズマブの薬効予測と効果発現機序の解明	鈴木 浩太郎	アレルギー・膠原病 内科	¥400,000	補 委 厚生労働科学研究費 補助金
末梢血単核球の網羅的遺伝子発現解析による関節リウマチに対するトシリズマブの薬効予測と効果発現機序の解明	渡邊 紀彦	アレルギー・膠原病 内科	¥400,000	補 委 厚生労働科学研究費 補助金
末梢血単核球の網羅的遺伝子発現解析による関節リウマチに対するトシリズマブの薬効予測と効果発現機序の解明	廣瀬 晃一	アレルギー・膠原病 内科	¥400,000	補 委 厚生労働科学研究費 補助金
末梢血単核球の網羅的遺伝子発現解析による関節リウマチに対するトシリズマブの薬効予測と効果発現機序の解明	高取 宏昌	アレルギー・膠原病 内科	¥400,000	補 委 厚生労働科学研究費 補助金
NOD2変異に関連した全身性炎症性肉芽腫性疾患	池田 啓	アレルギー・膠原病 内科	¥500,000	補 委 厚生労働科学研究費 補助金
支气管喘息およびChurg-Straus症候群におけるTh9細胞の役割の解明	廣瀬 晃一	アレルギー・膠原病 内科	¥1,900,000	補 委 学術研究助成基金 助成金
自己免疫疾患発症におけるSoxファミリー分子の役割の解明	須藤 明	アレルギー・膠原病 内科	¥1,500,000	補 委 学術研究助成基金 助成金
関節リウマチのTh17細胞分化におけるWnt/カテニン-SGK1経路の役割の解明	加々美 新一郎	アレルギー・膠原病 内科	¥1,700,000	補 委 学術研究助成基金 助成金
新規NF-κB抑制性シグナルの解明	鈴木 浩太郎	アレルギー・膠原病 内科	¥1,700,000	補 委 学術研究助成基金 助成金
メモリーTh2細胞プール縮小療法の開発研究	中島 裕史	アレルギー・膠原病 内科	¥1,500,000	補 委 学術研究助成基金 助成金
三次リンパ組織形成におけるLti様細胞の役割の解明	高取 宏昌	アレルギー・膠原病 内科	¥1,000,000	補 委 日本ワックスマン財団
気管支喘息におけるBAFFレセプターの役割	鈴木 浩太郎	アレルギー・膠原病 内科	¥1,000,000	補 委 日本アレルギー協会
末梢血単核球の網羅的遺伝子発現解析による関節リウマチに対するトシリズマブの薬効予測と効果発現機序の解明	池田 啓	アレルギー・膠原病 内科	¥1,000,000	補 委 日本リウマチ財団

計 174/174

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Hematol	Nilotinib as frontline therapy for patients with newly diagnosed Ph+ chronic myeloid leukemia in chronic phase: results from the Japanese subgroup of ENESTnd.	Nakaseko C	血液内科
Cancer Sci	Phase I trial of gemtuzumab ozogamicin in intensive combination chemotherapy for relapsed or refractory adult AML -JALSG-AML206 study.	Nakaseko C	血液内科
Int J Hematol	Clinical features and effect of chemotherapy of chronic active Epstein-Barr virus infection in adulthood, a retrospective analysis.	Nakaseko C	血液内科
Int J Hematol	Posterior reversible encephalopathy syndrome in an adult patient with acute lymphoblastic leukemia after remission induction chemotherapy	Nakaseko C	血液内科
Blood	Randomized Study of Induction Therapy Comparing Standard-dose Idarubicin with High-dose Daunorubicin in Adult Patients with Previously Untreated Acute Myeloid Leukemia: JALSG AML201 Study	Nakaseko C	血液内科
Blood	A Randomized Comparison of Four Courses of Standard-Dose Multiagent Chemotherapy versus Three Courses of High-Dose Cytarabine alone in Post-remission Therapy for Acute Myeloid Leukemia in Adults: the JALSG AML201 Study.	Nakaseko C	血液内科
Int J Hematol	Incidence, risk factors and outcomes of bronchiolitis obliterans after allogeneic stem cell transplantation.	Nakaseko C	血液内科
Bone Marrow Transplant	Air-leak syndrome following allo-SCT in adult patients: report from the Kanto Study Group for Cell Therapy in Japan.	Nakaseko C	血液内科
Brit J Haematol	Direct activation of Stat5 by TEL-Lyn fusion protein promotes induction of myeloproliferative disease with myelofibrosis.	Nakaseko C	血液内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	POEMS syndrome with Guillan-Barr, syndrome-like acute onset: A case report and review of neurological progression in 30 cases.	Nakaseko C	血液内科
Clin Immunol	Induction of NKT cell-specific immune responses in cancer tissues after NKT cell-targeted adoptive immunotherapy.	Shimizu N	血液内科
Intern Med	Detection of Bone Lesions by CT in POEMS Syndrome.	Nakaseko C	血液内科
J Clin Exp Hematopathol	Double-Hit Lymphoma at Second Relapse of Burkitt-Like Lymphoma : A Case Report.	Nakaseko C	血液内科
Am J Hematol	Successful treatment of sinusoidal obstructive syndrome/ hepatic veno-occlusive disease after unrelated bone marrow transplantation with recombinant soluble thrombomodulin.	Nakaseko C	血液内科
Bone Marrow Transplant	Low-dose trimethoprim-sulfamethoxazole for Pneumocystis jiroveci pneumonia prophylaxis after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Nakaseko C	血液内科
Bone Marrow Transplant	Successful treatment with rituximab and donor lymphocyte infusions for fulminant EBV-associated lymphoproliferative disorder that developed 14 years after unrelated BMT.	Nakaseko C	血液内科

計 16/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Bone Marrow Transplant	Secondary solid tumors after allogeneic stem cell transplantation in Japan.	Nakaseko C	血液内科
臨床血液	原発性アミロイドーシスとPOEMS症候群に対する治療	中世古知昭	血液内科
血液内科	EGFRシグナル伝達阻害物質によるG-CSF誘導性造血幹細胞総員の増強	中世古知昭	血液内科
病理と臨床	悪性リンパ腫の化学療法中に急性呼吸循環不全をきたして死亡した非外傷性肺脂肪塞栓症の一部検例.	中世古知昭	血液内科
血液内科	多発性骨髄腫に対する造血幹細胞移植療法	中世古知昭	血液内科
Chest	Subpleural perfusion as a predictor for a poor surgical outcome in chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Tanabe N	呼吸器内科
Respir Res	Endothelial-like cells in chronic thromboembolic pulmonary hypertension: crosstalk with myofibroblast-like cells	Sakao S	呼吸器内科
Respiration	The effects of antiangiogenic compound SU5416 in a rat model of pulmonary arterial hypertension	Sakao S	呼吸器内科
Oncol Rep	Upregulation of thioredoxin reductase 1 in human oral squamous cell carcinoma	Tatsumi K	呼吸器内科
Cancer Sci	Synergistic effect of non-transmissible Sendai virus encoding the c-myc suppressor FUSE-binding protein-interacting repressor plus cisplatin in the treatment of malignant pleural mesothelioma.	Tatsumi K	呼吸器内科
Mycopathologia	Inhalation of Stachybotrys chartarum evokes pulmonary arterial remodeling in mice, attenuated by Rho-kinase inhibitor.	Tatsumi K	呼吸器内科
Int J Cardiol	Characterization of myofibroblasts in chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Tatsumi K	呼吸器内科
Int J Cardiol	Association of deep vein thrombosis type with clinical phenotype of chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Tatsumi K	呼吸器内科
Respir Res	Attenuation of lung inflammation and fibrosis in CD69-deficient mice after intratracheal bleomycin.	Tatsumi K	呼吸器内科
Circ J	Serum level of fibrinogen-a chain fragment increases in chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Tatsumi K	呼吸器内科
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol.	Rho-kinase inhibition alleviates pulmonary hypertension in transgenic mice expressing a dominant-negative type II bone morphogenetic protein receptor gene.	Tatsumi K	呼吸器内科
J Recep Signal Transduct Res.	Cigarette smoke-induced pulmonary inflammation is attenuated in CD69-deficient mice.	Tatsumi K	呼吸器内科
Int J Cardiol	Detailed distribution of acute pulmonary thromboemboli; Direct evidence for reduction of acquisition length and radiation dose for triple rule-out CT angiography.	Tanabe N	呼吸器内科
Head Neck	Antitumor activity of satraplatin in cisplatin-resistant oral squamous cell carcinoma cells.	Iwasawa S,	呼吸器内科
Jpn J Clin Oncol	Clinical Implication of the Antidiuretic Hormone (ADH) Receptor Antagonist Mozavaptan Hydrochloride in Patients with Ectopic ADH Syndrome.	Tatsumi K	呼吸器内科

計 36/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Thorac Cardiovasc Surg	Long-term outcome after pulmonary endarterectomy for chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Tanabe N	呼吸器内科
Clin Dev Immunol	A Possible Anticancer Agent, Type III Interferon, Activates Cell Death Pathways and Produces Antitumor Effects.	Tada Y	呼吸器内科
Int J Cardiol	ACTH deficiency and PGI2 therapy in chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Tanabe N	呼吸器内科
Int J Clin Oncol	An early event of EGFR mutation in pleomorphic carcinoma of the lung.	Tatsumi K	呼吸器内科
Japan Medical Association Journal	Pharmacotherapy options in COPD according to the new guidelines of the Japanese Respiratory Society.	Tatsumi K	呼吸器内科
Respirology	The importance of epigenetics in the development of chronic obstructive pulmonary disease	Sakao S	呼吸器内科
日本呼吸器学会雑誌	320列CTを用いて経過観察しえた経カテーテル的塞栓術を施行した肺動静脈瘻の1例.	笠原靖紀	呼吸器内科
日本呼吸器学会雑誌	SIADHとLambert-Eaton筋無力症候群を併発した小細胞肺癌の1例	黒田文伸	呼吸器内科
日本呼吸器学会雑誌	Lemierre症候群の1例	黒田文伸	呼吸器内科
J Thorac Cardiovasc Surg.	Long-term outcome after pulmonary endarterectomy for chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Ishida K	心臓血管外科
Hepatogastroenterolo	Usefulness of preoperative partial splenic embolization in hepatocellular carcinoma and hypersplenic thrombocytopenia.	吉留博之	肝胆膵外科
J Am Coll Sur	Treatment strategy for hepatocellular carcinoma with major portal vein or inferior vena cava invasion: a single institution experience	吉留博之	肝胆膵外科
Am J Surg Pathol	Similarities and differences between intraductal papillary tumors of the bile duct with and without macroscopically visible mucin secretio	大塚将之	肝胆膵外科
J Clin Biochem Nutr.	Hepatocyte apoptosis is enhanced after ischemia/reperfusion in the steatotic liver	鈴木 T	肝胆膵外科
Transplant Pro	CXCR1 deficiency does not alter liver regeneration after partial hepatectomy in mic	酒井 望	肝胆膵外科
Eur Urol.	Anoikis disruption of focal adhesion-Akt signaling impairs renal cell carcinoma.	Sakamoto S	泌尿器科
Int J Oncol.	Restoration of miR-145 expression suppresses cell proliferation, migration and invasion in prostate cancer by targeting FSCN1.	Fuse M	泌尿器科
Prostate Cancer.	Development and External Validation of a Nomogram Predicting the Probability of Significant Gleason Sum Upgrading among Japanese Patients with Localized Prostate Cancer.	Imamoto T	泌尿器科
Prostate Cancer.	Complications, urinary continence, and oncologic outcomes of laparoscopic radical prostatectomy: single-surgeon experience for the first 100 cases.	Imamoto T	泌尿器科
Surgery.	High predictive accuracy of Aldosteronoma Resolution Score in Japanese patients with aldosterone-producing adenoma.	Utsumi T	泌尿器科

計 56/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Jpn J Clin Oncol.	External validation of a pre-operative prognostic nomogram for renal cell carcinoma in two patient populations: a retrospective cohort study.	Utsumi T	泌尿器科
Int J Urol.	Prognostic models for renal cell carcinoma recurrence: external validation in a Japanese population.	Utsumi T	泌尿器科
Japanese Journal of Endourology	褐色細胞腫術後のカタコラミン補充に関する臨床的検討	Utsumi T	泌尿器科
Jpn J Ophthalmol 55: 365-369, 2011.	Long-term therapeutic efficacy of the subthreshold micropulse diode laser photocoagulation for diabetic macular edema.	Yamamoto S	眼科
Clin Ophthalmol 5; 411-413: 2011.	Case of retinal detachment due to retinal break splitting macula vertically in a patient with cognitive disorder.	Baba T	眼科
Case Report Ophthalmol 2; 134-139: 2011.	Subretinal hemorrhage after photodynamic therapy for juxtapapillary retinal capillary hemangioma.	Baba T	眼科
Clin Ophthalmol 5; 687-689: 2011.	Early-stage mucinous sweat gland adenocarcinoma of eyelid	Oshitari T	眼科
Am J Ophthalmol 152; 283-290: 2011.	Foveal microstructure on spectral-domain optical coherence tomographic images and visual function after macular hole surgery.	Baba T	眼科
Clin Ophthalmol 5; 1051-1055: 2011.	Long-term success of intravitreal bevacizumab for choroidal neovascularization associated with choroidal osteoma.	Oshitari T	眼科
Neurosci Lett 501; 102-106 :2011.	Effect of neurotrophin-4 on endoplasmic reticulum stress-related neuronal apoptosis in diabetic and high glucose exposed rat retinas.	Oshitari T	眼科
J Clinic Experiment Ophthalmol S3; 002: 2011 [review].	Diabetes mellitus and retinal vein occlusion as risk factors for open angle glaucoma and neuroprotective therapies for retinal ganglion cell neuropathy.	Oshitari T	眼科
Adv Otorhinolaryngol	Nasal submucosal administration of antigen-presenting cells induces effective immunological responses in cancer immunotherapy.	Okamoto Y, Fujikawa A他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Clin. Immunol	Increase of regulatory T cells and the ratio of specific IgE to total IgE are candidates for response monitoring or prognostic biomarkers in two-year sublingual immunotherapy (SLIT) for Japanese cedar pollinosis.	Fujimura T, Yonekura S他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Cancer Immunol Immunother	Migration and immunological reaction after the administration of α GalCer-pulsed antigen-presenting cells into the submucosa of patients with head and neck cancer.	Kurosaki M, Horiguchi S他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Clin Immunol	Induction of NKT cell-specific immune responses in cancer tissues after NKT cell-targeted adoptive immunotherapy.	Yamasaki K, Horiguchi S他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Int J Oncol	Caveolin-1 mediates tumor cell migration and invasion and its regulation by miR-133a in head and neck squamous cell carcinoma.	Nohata N, Hanazawa T他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Oncotarget.	miR-1 as a tumor suppressive microRNA targeting TAGLN2 in head and neck squamous cell carcinoma.	Nohata N, Sone Y 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Int. J. Oncol.	Identification of novel molecular targets regulated by tumor suppressive miR-1/miR-133a in maxillary sinus squamous cell carcinoma.	Nohata N, Hanazawa T他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Br J Cancer	Tumour suppressive microRNA-874 regulates novel cancer networks in maxillary sinus squamous cell carcinoma.	Nohata N, Hanazawa T他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科

計 75/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hum Genet.	umor suppressive microRNA-375 regulates oncogene AEG-1/MTDH in head and neck squamous cell carcinoma (HNSCC).	Nohata N, Hanazawa T他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Int J Mol Med.	Glutathione S-transferase P1 (GSTP1) suppresses cell apoptosis and its regulation by miR-133 α in head and neck squamous cell carcinoma (HNSCC).	Muradil M, Nohata N他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
J. Immunol.	CXCR4 expression on activated B cells is down-regulated by CD63 and IL-21.	Yoshida, N., Kitayama, D他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Clinical Immunology.	Anti-tumor immune responses induced by iNKT cell-based immunotherapy for lung cancer and head and neck cancer.	Motohashi S, Okamoto Y他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Biochem Biophys Res Commun.	Tumor suppressive microRNA-133a regulates novel targets: moesin contributes to cancer cell proliferation and invasion in head and neck squamous cell carcinoma.	Kinoshita T, Nohata N他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Int J Oncol	Actin-related protein 2/3 complex subunit 5 (ARPC5) contributes to cell migration and invasion and is directly regulated by tumor-suppressive microRNA-133a in head and neck squamous cell carcinoma.	Kinoshita T, Nohata N他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Int J Oncol	microRNA-375 regulates lactate dehydrogenase B in maxillary sinus squamous cell carcinoma.	Kinoshita T, Nohata N他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
J Hum Genet.2	The functional significance of microRNA-375 in human squamous cell carcinoma: aberrant expression and effects on cancer pathways.	Kinoshita T, Hanazawa T他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Clin Immunol.	Sublingual administration of Lactobacillus paracasei KW3110 inhibits Th2-dependent allergic responses via upregulation of PD-L2 on dendritic cells.	Inamine A, Sakurai D他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Am J Rhinol Allergy,	Immunological parameters associated with the development of allergic rhinitis: A preliminary prospective study.	Uekusa Y, Inamine A他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Asian J Oral Maxillofac Surg.	Convenient selective intra-arterial continuous infusion chemotherapy via the superior thyroid artery for oral cancer.	Yokoe H	歯科・顎・口腔外科
Head Neck.	Antitumor activity of satraplatin in cisplatin-resistant oral squamous cell carcinoma cells.	Yamano Y	歯科・顎・口腔外科
Int J Oncol.	Dickkopf-1 in human oral cancer.	Ogoshi K	歯科・顎・口腔外科
Oncogene	Targeting fibroblast growth factor receptor 3 enhances radiosensitivity in human squamous cancer cells.	Uzawa K	歯科・顎・口腔外科
Oral Science International	Loss of heterozygosity in oral cancer	Kasamatsu A	歯科・顎・口腔外科
Int J Cancer.	A potential predictor for metastasis of human oral cancer.	Yamotoji M	歯科・顎・口腔外科
Int J Oncol.	State of heat shock factor 1 expression as a putative diagnostic marker for oral squamous cell carcinoma.	Ishiwata J	歯科・顎・口腔外科
J Oral Maxillofac Surg.	Immunoglobulin G4-Related Sclerosing Inflammatory Pseudotumors Presenting in the Oral Cavity.	Ono K	歯科・顎・口腔外科
Int J Oncol.	Establishment and characterization of two 5-fluorouracil-resistant hepatocellular carcinoma cell lines.	Uchibori K	歯科・顎・口腔外科
Int J Oncol.	Upregulated expression of ADAM12 is associated with progression of oral squamous cell carcinoma.	Uehara E	歯科・顎・口腔外科

計 95/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oral Science International	Down-regulated expression of family with sequence similarity 3, member B (FAM3B), in oral squamous cell carcinoma	Shiiba M	歯科・顎・口腔外科
Oral Maxillofac Surg.	Epithelioid myoepithelioma of the hard palate.	Kasamatsu A	歯科・顎・口腔外科
日本口腔外科学会	高解像度融解曲線分析による口腔癌患者末梢血清中における腫瘍由来ミトコンドリアDNAの解析	鵜澤一弘	歯科・顎・口腔外科
Neurophysiol	Excitability testing: From nerve to muscle. Clin	Kuwabara S	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Propagation: prion-like mechanisms can explain spreading of motor neuronal death in amyotrophic lateral sclerosis?	Kuwabara S	神経内科
Clin Exp Neuroimmunol	Chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy: Clinical subtypes and their correlation with electrophysiology.	Kuwabara S	神経内科
Curr Treat Options Neurol	Fisher syndrome	Mori M	神経内科
Clinical Psychopharmacology and Neuroscience	Central nervous system drug evaluation using positron emission tomography.	Sekine M	神経内科
Clin Neurophysiol	The motor nerve terminals, as the barrier-free targets in immune-mediated neuropathies.	Kuwabara S	神経内科
J Neurol Sci	Diminished emotional sweating in patients with limbic encephalitis.	Asahina M	神経内科
Gut	Acute, severe constipation in a 58-year-old Japanese patient.	Hosoe N	神経内科
Dement Geriatr Cogn Disord	A Multicenter Brain Perfusion SPECT Study Evaluating Idiopathic Normal-Pressure Hydrocephalus on Neurological Improvement.	Ishii K	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	POEMS syndrome with Guillain-Barre syndrome-like acute onset: a case report and review of neurological progression in 30 cases.	Isose S	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Neurological pictures. Clumsy hand syndrome due to a localised cortical lesion in the primary sensory cortex in neuromyelitis optica.	Isose S	神経内科
J Neurosci	Relation between presynaptic and postsynaptic dopaminergic functions measured by positron emission tomography: implication of dopaminergic tone.	Ito H	神経内科
Neurol Sci	Bilateral abducens palsy in a case of cytomegalovirus-associated Guillain-Barre syndrome	Kishi M	神経内科
Mov Disord	Does levodopa affect metaiodobenzylguanidine myocardial accumulation in Parkinson's disease?	Kishi M	神経内科
Mod Rheumatol	A patient with neuromyelitis optica with positive anti-Ro (SS-A) antibody presenting with intractable hiccup and nausea.	Koga S	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Neuromuscular transmission is not impaired in axonal Guillain-Barre syndrome.	Kuwabara S	神経内科
J Neurol Sci	Involvement of pontine transverse and longitudinal fibers in multiple system atrophy: A tractography-based study.	Makino T	神経内科

計115/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurology	Ultrasonographic detection of fasciculations markedly increases diagnostic sensitivity of ALS.	Misawa S	神経内科
Neurol Sci	Detection of mumps virus RNA in cerebrospinal fluid of patients with neuromyelitis optica.	Mori M	神経内科
J Neurol Sci	Characteristics of myasthenia gravis according to onset-age: Japanese nationwide survey.	Murai H	神経内科
Nat Med	RGMA modulates T cell responses and is involved in autoimmune encephalomyelitis.	Muramatsu R	神経内科
Int J Cardiol	Dilated cardiomyopathy with centronuclear myopathy in a young male.	Nomura S	神経内科
Clin Neurophysiol	Activity-dependent changes in impulse conduction of single human motor axons: a stimulated single fiber electromyography study.	Noto Y	神経内科
Neurol Sci	VGCC antibody-positive paraneoplastic cerebellar degeneration presenting with positioning vertigo.	Ogawa E	神経内科
Intern Med	Pure isolated internuclear ophthalmoplegia.	Ogawa E	神経内科
Intern Med	Crohn's disease and stroke in a young adult.	Ogawa E	神経内科
Exp Neurol	Markedly reduced axonal potassium channel expression in human sporadic amyotrophic lateral sclerosis: an immunohistochemical study.	Shibuya K	神経内科
Intern Med	Detection of bone lesions by CT in POEMS syndrome.	Shibuya K	神経内科
Int Med J	Postural balance and dementias.	Shimoyama I	神経内科
Am J Med Sc	Hashimoto's ophthalmopathy.	Tateno F	神経内科
Parkinsonism Relat Disord	Pure akinesia with low myocardial metaiodobenzylguanidine uptake.	Tateno F	神経内科
Parkinsonism Relat Disord	Sensitivity and specificity of metaiodobenzylguanidine (MIBG) myocardial accumulation in the diagnosis of Lewy body diseases in a movement disorder clinic.	Tateno F	神経内科
J Am Geriatr Soc	Incidence of emergency intestinal pseudo-obstruction in Parkinson's disease.	Tateno F	神経内科
Clin Auton Res	Progressive supranuclear palsy presenting with urinary retention and sleep apnea.	Tateno F	神経内科
Intern Med	Meningitis-retention syndrome: first case of urodynamic follow-up.	Tateno F	神経内科
Parkinsonism Relat Disord	Levodopa ameliorated anorectal constipation in de novo Parkinson's disease: The QL-GAT study.	Tateno F	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Urinary dysfunction in early and untreated Parkinson's disease.	Uchiyama T	神経内科

計135/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Case Report Med	Relapse of neuromyelitis optica spectrum disorder associated with intravenous lidocaine.	Uzawa A	神経内科
Arch Neurol	Markedly elevated soluble intercellular adhesion molecule 1, soluble vascular cell adhesion molecule 1 levels, and blood-brain barrier breakdown in neuromyelitis optica.	Uzawa A	神経内科
Neurology	Ultrasonographic detection of fasciculations markedly increases diagnostic sensitivity of ALS.	Boekestein WA	神経内科
J Neurol Sci	Clinical features and recovery patterns of acquired non-thyrototoxic hypokalemic paralysis.	Hiraga A	神経内科
Neurol Sci	Lateral medullary infarction presenting as isolated vertigo and unilateral loss of visual suppression.	Kishi M	神経内科
Brain Res	Over-expression of map kinase phosphatase-1 (MKP-1) suppresses neuronal death through regulating JNK signaling in hypoxia/re-oxygenation.	Koga S	神経内科
Clin Neurophysiol	Reference values for voluntary and stimulated single-fibre EMG using concentric needle electrodes: A multicentre prospective study.	Kokubun N	神経内科
Expert Rev Neurother	Fisher syndrome: clinical features, immunopathogenesis and management.	Mori M	神経内科
Clin Neurophysiol	Awaji ALS criteria increase the diagnostic sensitivity in patients with bulbar onset.	Noto Y	神経内科
Neurourol Urodyn	Correlation of right frontal hypoperfusion and urinary dysfunction in iNPH: A SPECT study.	Sakakibara R	神経内科
Neuroimage	A short-scan method for k(3) estimation with moderately reversible PET ligands: Application of irreversible model to early-phase PET data.	Sato K	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Antiganglioside antibodies are associated with axonal Guillain-Barre syndrome: A Japanese-Italian collaborative study.	Sekiguchi Y	神経内科
Brain	Non-human primate model of amyotrophic lateral sclerosis with cytoplasmic mislocalization of TDP-43.	Uchida A	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	CSF interleukin-6 level predicts recovery from neuromyelitis optica relapse.	Uzawa A	神経内科
Neurobiol Dis	Anticholinergics boost the pathological process of neurodegeneration with increased inflammation in a tauopathy mouse model.	Yoshiyama Y	神経内科
自律神経	パーキンソン病自律神経障害のすべて～専門家によるリレーセッション パーキンソン病における皮膚血流反応	朝比奈正人	神経内科
発汗学	精神性発汗の中樞経路 主に神経疾患における所見からの推察.	朝比奈正人	神経内科
臨床神経学	神経内科領域のMRI をもちいた臨床研究—1枚の画像をどう評価するか—.	伊藤彰一	神経内科
千葉医学会雑誌	視神経脊髄炎と多発性硬化症の免疫病態の相違.	鵜沢頭之	神経内科
排尿障害プラクティス	【排尿障害の私の治療1】夜間頻尿・尿失禁 神経疾患における夜間頻尿と尿失禁.	内山智之	神経内科

計155/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
自律神経	神経疾患と夜間頻尿.	内山智之	神経内科
BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩	【神経筋接合部 基礎から臨床まで】重症筋無力症治療の現況と展望 免疫抑制・調節薬の観点から.	川口直樹	神経内科
日本医師会雑誌	しびれの臨床(No.3)しびれの鑑別診断	桑原 聡	神経内科
Clinical Neuroscience	神経疾患治療ノート Crow-Fukase症候群.	桑原 聡	神経内科
BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩	【神経筋接合部 基礎から臨床まで】神経筋伝導と興奮収縮連関の電気生理学.	桑原 聡	神経内科
日本医師会雑誌	【症状からアプローチするプライマリケア】四肢のしびれ.	桑原 聡	神経内科
日本内科学会雑誌	医学と医療の最前線 Crow-Fukase症候群の病態と新規治療.	桑原 聡	神経内科
自律神経	Autonomic neuropathy 自律神経性ニューロパチーの治療と予後.	桑原 聡	神経内科
脊椎脊髄ジャーナル	【手の症候】疾患別の手の症候 筋萎縮性側索硬化症(ALS)における手の症候 Split Hand.	桑原 聡	神経内科
臨床神経学	難治性末梢神経疾患の治療戦略 クロウ・深瀬症候群.	桑原 聡	神経内科
千葉医学雑誌	BHD遺伝子異常に起因する多発性肺嚢胞疾患の病理—反復性気胸に対する新たな洞察.	古賀俊輔	神経内科
医療判例解説	指標事例No.02 ヘルペス脳炎の確定診断が遅れ、高次機能障害が残ったのは、問診・検査義務ないし転医義務違反が原因として、損害賠償を求めた事例.	榎原隆次	神経内科
自律神経	パーキンソン病の排尿排便障害.	榎原隆次	神経内科
Modern Physician	神経因性膀胱の治療.	榎原隆次	神経内科
自律神経	下部消化管とドパミン: パーキンソン病治療薬との関連を含めて.	榎原隆次	神経内科
自律神経	パーキンソン病の排便障害: MIBGシンチグラフィ異常を伴う特発性便秘を含めて.	榎原隆次	神経内科
暮らしと健康	アルツハイマー型認知症: 性格が変わって暴力を振るう母. もう治らないのか.	榎原隆次	神経内科
Clinical Neuroscience	パーキンソン病の非運動症状への対応: 排尿障害	榎原隆次	神経内科
Brain Medical	【脳と神経を測る】脳の体積を測る Voxel-based morphometry.	島田 斉	神経内科
自律神経	脊髄小脳失調症6型の膀胱自律神経障害.	杉山 恵	神経内科

計175/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
自律神経	末梢神経障害に伴う排尿筋外括約筋協調不全(DSD).	高橋 修	神経内科
Modern Physician	脱水脳症-dehydration encephalopathy-.	館野冬樹	神経内科
医学のあゆみ	神経因性膀胱における排尿障害の特徴.	館野冬樹	神経内科
医学教育	千葉大学医学部における学習成果基盤型教育(Outcome-based Education)の実質化 順次性のあるカリキュラム編成の工夫.	田邊政裕	神経内科
神経内科	【神経血管圧迫症候群】三叉神経痛.	松田信二	神経内科
糖尿病合併症	糖尿病性神経障害の新時代 成因から治療まで 軸索イオンチャンネル機能モニタリングに基づく糖尿病性末梢神経障害治療.	三澤園子	神経内科
Brain Medical	【脳と神経を測る】末梢神経で痛みを測る 軸索興奮性測定.	三澤園子	神経内科
神経内科	【神経・筋疾患の新規治療】Crow-Fukase(POEMS)症候群の新しい治療戦略.	三澤園子	神経内科
レジデントノート	【神経診察のコツ 病歴と診察で病変部位がみえてくる!】反射のみかた.	伊藤彰一	神経内科
難病と在宅ケア	排尿障害教室 多系統萎縮症患者さんの尿路感染症の治療情報.	金井数明	神経内科
医学検査	Charcot-Marie-Tooth病1型と考えられた2例; 神経伝導検査所見を含めて.	高橋 修	神経内科
Clinical Neuroscience	検査からみる神経疾患 パーキンソン病の画像.	平野成樹	神経内科
Frontiers in Parkinson Disease	Skill Up 画像診断のより上手な使い方 パーキンソン病のイメージング.	平野成樹	神経内科
神経内科	眼で見る神経内科 遺残三叉動脈と内頸動脈合流部に発生した層状血栓を伴う内頸動脈動脈瘤.	牧野隆宏	神経内科
胃電図	検査からみる神経疾患	山中義崇	神経内科
Internal Medicine	Diagnostic usefulness of Carnett's test in psychogenic abdominal pain.	Takada T	総合診療部
International Journal of General Medicine	Predictors for benign paroxysmal positional vertigo with positive Dix-Hallpike test.	Noda K	総合診療部
General Medicine	Comparison of the outpatient diagnostic process between novice and trained residents.	Basugi A	総合診療部
Internal Medicine	Kaposi's Varicelliform Eruption With Suspected Sexual Transmission.	Ohira Y	総合診療部
日本遠隔医療学会雑誌	総合内科初診外来における遠隔診断の試み	太田光泰	総合診療部、循環型地域医療連携システム学

計195/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Hematol	Nilotinib as frontline therapy for patients with newly diagnosed Ph+ chronic myeloid leukemia in chronic phase: results from the Japanese subgroup of ENESTnd.	Nakaseko C	血液内科
Cancer Sci	Phase I trial of gemtuzumab ozogamicin in intensive combination chemotherapy for relapsed or refractory adult AML -JALSG-AML206 study.	Nakaseko C	血液内科
Int J Hematol	Clinical features and effect of chemotherapy of chronic active Epstein-Barr virus infection in adulthood, a retrospective analysis.	Nakaseko C	血液内科
Int J Hematol	Posterior reversible encephalopathy syndrome in an adult patient with acute lymphoblastic leukemia after remission induction chemotherapy	Nakaseko C	血液内科
Blood	Randomized Study of Induction Therapy Comparing Standard-dose Idarubicin with High-dose Daunorubicin in Adult Patients with Previously Untreated Acute Myeloid Leukemia: JALSG AML201 Study.	Nakaseko C	血液内科
Blood	A Randomized Comparison of Four Courses of Standard-Dose Multiagent Chemotherapy versus Three Courses of High-Dose Cytarabine alone in Post-remission Therapy for Acute Myeloid Leukemia in Adults: the JALSG AML201 Study.	Nakaseko C	血液内科
Int J Hematol	Incidence, risk factors and outcomes of bronchiolitis obliterans after allogeneic stem cell transplantation.	Nakaseko C	血液内科
Bone Marrow Transplant	Air-leak syndrome following allo-SCT in adult patients: report from the Kanto Study Group for Cell Therapy in Japan.	Nakaseko C	血液内科
Brit J Haematol	Direct activation of Stat5 by TEL-Lyn fusion protein promotes induction of myeloproliferative disease with myelofibrosis.	Nakaseko C	血液内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	POEMS syndrome with Guillan-Barré, syndrome-like acute onset: A case report and review of neurological progression in 30 cases.	Nakaseko C	血液内科
Clin Immunol	Induction of NKT cell-specific immune responses in cancer tissues after NKT cell-targeted adoptive immunotherapy.	Shimizu N	血液内科
Intern Med	Detection of Bone Lesions by CT in POEMS Syndrome.	Nakaseko C	血液内科
J Clin Exp Hematopathol	Double-Hit Lymphoma at Second Relapse of Burkitt-Like Lymphoma : A Case Report.	Nakaseko C	血液内科
Am J Hematol	Successful treatment of sinusoidal obstructive syndrome/ hepatic veno-occlusive disease after unrelated bone marrow transplantation with recombinant soluble thrombomodulin.	Nakaseko C	血液内科
Bone Marrow Transplant	Low-dose trimethoprim-sulfamethoxazole for Pneumocystis jirovecii pneumonia prophylaxis after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Nakaseko C	血液内科
Bone Marrow Transplant	Successful treatment with rituximab and donor lymphocyte infusions for fulminant EBV-associated lymphoproliferative disorder that developed 14 years after unrelated BMT.	Nakaseko C	血液内科
Bone Marrow Transplant	Secondary solid tumors after allogeneic stem cell transplantation in Japan	Nakaseko C	血液内科
臨床血液	原発性アミロイドーシスとPOEMS症候群に対する治療.	中世古知昭	血液内科
血液内科	EGFRシグナル伝達阻害物質によるG-CSF誘導性造血幹細胞総量の増強	中世古知昭	血液内科
病理と臨床	悪性リンパ腫の化学療法中に急性呼吸循環不全をきたして死亡した非外傷性肺脂肪塞栓症の一剖検例	中世古知昭	血液内科

計215/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
血液内科	多発性骨髄腫に対する造血幹細胞移植療法	中世古知昭	血液内科
J Thorac Cardiovasc Surg.	Long-term outcome after pulmonary endarterectomy for chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Ishida K	心臓血管外科
Surg Endosc.	The classification of anatomic variations in the perigastric vessels by dual-phase CT to reduce intraoperative bleeding during laparoscopic gastrectomy.	Natsume T	食道・胃腸外科
Ann Surg Oncol.	COX2 expression predicts resistance to chemoradiotherapy in esophageal squamous cell carcinoma.	Akutsu Y	食道・胃腸外科
Surg Today.	The significance of lymph node status as a prognostic factor for esophageal cancer.	Akutsu Y	食道・胃腸外科
J Biomed Biotechnol.	Recent advances in p53 research and cancer treatment.	Suzuki K	食道・胃腸外科
Hepato-Gastroenterol.	Low peritoneal and systemic inflammatory response after laparoscopy-assisted gastrectomy compared to open gastrectomy.	Natsume T	食道・胃腸外科
Dig Surg.	Apparent Diffusion Coefficient Values Measured by Diffusion-Weighted Imaging Predict Chemoradiotherapeutic Effect for Advanced Esophageal Cancer.	Aoyagi T	食道・胃腸外科
Int Surg.	Survival predictors of patients with primary duodenal adenocarcinoma.	Kawahira H	食道・胃腸外科
Intern Med.	Intussusceptions associated with an ileal duplication cyst.	Hoshino I	食道・胃腸外科
Esophagus	A case of small-cell esophageal cancer with chronic renal failure undergoing hemodialysis safely treated with cisplatin and etoposide.	Murakami K	食道・胃腸外科
Esophagus	Long-term survival after resection of paraaortic lymph node metastasis that developed 6 years after the esophagectomy.	Hoshino I	食道・胃腸外科
Gastroenterological Endoscopy	胸部食道亜全摘胃管再建症例の逆流性食道炎と円柱上皮化生の検討	本島柳司	食道・胃腸外科
千葉医学雑誌	食道内視鏡的面膜下層剥離術におけるクリップ牽引法の有効性	上里昌也	食道・胃腸外科
日本臨床外科学会雑誌	重症急性膵炎に対する手術症例の検討	星野敢	食道・胃腸外科
早期食道癌—そのコンセンサスと最前線(桑野博行編著, 中外医学社, 東京, 145-146)	内視鏡治療にて残存が疑われる場合	松原久裕	食道・胃腸外科
Hepatogastroenterolo	Usefulness of preoperative partial splenic embolization in hepatocellular carcinoma and hypersplenic thrombocytopenia.	吉留博之	肝胆膵外科
J Am Coll Sur	Treatment strategy for hepatocellular carcinoma with major portal vein or inferior vena cava invasion: a single institution experience	吉留博之	肝胆膵外科
Am J Surg Patho	Similarities and differences between intraductal papillary tumors of the bile duct with and without macroscopically visible mucin secretio	大塚将之	肝胆膵外科
J Clin Biochem Nutr.	Hepatocyte apoptosis is enhanced after ischemia/reperfusion in the steatotic liver	鈴木 T	肝胆膵外科

計235/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Transplant Pro	CXCR1 deficiency does not alter liver regeneration after partial hepatectomy in mic	酒井 望	肝胆膵外科
Acta Radiol	Response Rate to Neoadjuvant Chemotherapy Measured on Imaging Predicts Early Recurrence and Death in Breast Cancer Patients with Lymph Node Involvements.	Nagashima T	乳腺・甲状腺外科
J Cancer Res Clin Oncol	Identification of vitronectin as a novel serum marker for early breast cancer detection using a new proteomic approach.	Kadowaki M	乳腺・甲状腺外科
Cancer	ALDH1-positive cells in axillary lymph node metastases after chemotherapy as a prognostic factor in patients with node-positive breast cancer.	Fujimori T	乳腺・甲状腺外科
International journal of cardiology	ACTH deficiency and PGI(2) therapy in chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
Oncology reports	Upregulation of thioredoxin reductase 1 in human oral squamous cell carcinoma.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
Cancer science	Synergistic effect of non-transmissible Sendai virus vector encoding the c-myc suppressor FUSE-binding protein-interacting repressor plus cisplatin in the treatment of malignant pleural mesothelioma.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
International journal of cardiology	Characterization of myofibroblasts in chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
Mycopathologia	Inhalation of Stachybotrys chartarum evokes pulmonary arterial remodeling in mice, attenuated by Rho-kinase inhibitor.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
International journal of clinical oncology	An early event of EGFR mutation in pleomorphic carcinoma of the lung.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
Circulation journal	Serum level of fibrinogen Aalpha chain fragment increases in chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Takiguchi, Y	臨床腫瘍部
Cancer Sci	Innovator and generic cisplatin formulations: comparison of the renal toxicity.	Sekine, I	臨床腫瘍部
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Phase I study of concurrent high-dose three-dimensional conformal radiotherapy with chemotherapy using cisplatin and vinorelbine for unresectable stage III non-small cell lung cancer.	Sekine, I	臨床腫瘍部
Lung Cancer.	Frequent ALK rearrangement and TTF-1/p63 co-expression in lung adenocarcinoma with signet-ring cell component.	Sekine, I	臨床腫瘍部
Lung Cancer.	The usefulness of mutation-specific antibodies in detecting epidermal growth factor receptor mutations and in predicting response to tyrosine kinase inhibitor therapy in lung adenocarcinoma.	Sekine, I	臨床腫瘍部
Jpn J Clin Oncol.	Safety of BLP25 Liposome Vaccine (L-BLP25) in Japanese Patients with Unresectable Stage III NSCLC after Primary Chemoradiotherapy: Preliminary Results from a Phase I/II Study.	Sekine, I	臨床腫瘍部
Jpn J Clin Oncol.	Amrubicin Monotherapy for Patients with Previously Treated Advanced Large-cell Neuroendocrine Carcinoma of the Lung.	Sekine, I	臨床腫瘍部
J Pharm Sci	Genetic variations of orosomucoid genes associated with serum alpha-1-acid glycoprotein level and the pharmacokinetics of paclitaxel in Japanese cancer patients.	Sekine, I	臨床腫瘍部
Jpn J Clin Oncol.	Combination chemotherapy with carboplatin and paclitaxel for advanced thymic cancer.	Sekine, I	臨床腫瘍部
Invest New Drugs.	Figitumumab combined with carboplatin and paclitaxel in treatment-naïve Japanese patients with advanced non-small cell lung cancer.	Sekine, I	臨床腫瘍部

計255/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Surg Pathol.	Comprehensive histologic analysis of ALK-rearranged lung carcinomas.	Sekine, I	臨床腫瘍部
Clin Lung Cancer.	Retrospective Analysis of Third-Line and Fourth-Line Chemotherapy for Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer.	Sekine, I	臨床腫瘍部
J Thorac Oncol.	Bright-field dual-color chromogenic in situ hybridization for diagnosing echinoderm microtubule-associated protein-like 4-anaplastic lymphoma kinase-positive lung adenocarcinomas.	Sekine, I	臨床腫瘍部
Cancer Chemother Pharmacol.	Pharmacokinetic and pharmacodynamic study on amrubicin and amrubicinol in Japanese patients with lung cancer.	Sekine, I	臨床腫瘍部
J Thorac Oncol.	Risk Factors for Treatment-Related Death Associated with Chemotherapy and Thoracic Radiotherapy for Lung Cancer.	Sekine, I	臨床腫瘍部
Mol Pharm	nitroxide derivatives for imaging of hypercholesterolemia-induced kidney dysfunction and assessing the effectiveness of antilipidemic drugs	Ishii I	薬剤部
Drug Metab Dispos	Gln172His Replacement Overcomes Effects on the Metabolism of Cyclophosphamide and Efavirenz Caused by CYP2B6 Variant with Arg262.	Ariyoshi N	薬剤部
Biochim Biophys Acta	Carbamoyl-PROXYL-enhanced MRI detects very small disruptions in brain vascular permeability induced by dietary cholesterol.	Ishii I	薬剤部
Cell Physiol Biochem	Degradation of filamin induces contraction of vascular smooth muscle cells in type-I collagen matrix honeycombs.	Tashiro K	薬剤部
Jpn J Infect Dis	Effectiveness and safety of pandemic influenza A (H1N1) 2009 vaccine in healthcare workers at a university hospital in Japan.	Nakamura Y	薬剤部
Health	Effects of water flow volume on the isolation of bacteria from motion sensor faucets.	Nakamura Y	薬剤部
Amino Acids	Correlation between antizyme 1 and differentiation of vascular smooth muscle cells cultured in honeycomb-like type-I collagen matrix.	Suzuki T	薬剤部
日本内分泌学会雑誌	レボチロキシンの経静脈投与を必要としたMultidrug resistance diseaseの一例.	仲佐啓詳	薬剤部
医薬品情報学	シクロスポリン細粒の分包調剤後の光安定性に関する検討.	山崎伸吾	薬剤部
Clin Immunol. 2011;138(3):255-65.	Induction of NKT cell-specific immune responses in cancer tissues after NKT cell-targeted adoptive immunotherapy.	Yamasaki K, Horiguchi S, Kurosaki M, Kunii N, Nagato K, Hanaoka H, Shimizu N, Ueno N, Yamamoto S, Taniguchi M, Motohashi S, Nakayama T.	臨床試験部
J Diabetes Investig	Glucagon-like peptide-1 secretion by direct stimulation of L cells with luminal sugar versus non-nutritive sweetener.	Sakurai K	糖尿病・代謝・内分泌内科
DNA Cell Biology	The role of the HIF-1 binding site in the induction of aquaporin-1 mRNA expression by hypoxia.	Tanaka A	糖尿病・代謝・内分泌内科
Exp Diabetes Res	Angiotensin II Type 1 Receptor Blocker Prevents Renal Injury via Inhibition of the Notch Pathway in Ins2 Akita Diabetic Mice.	Koshizaka M	糖尿病・代謝・内分泌内科
Biochem Biophys Res Commun	The roles of transforming growth factor- β and Smad3 signaling in adipocyte differentiation and obesity. Biochem Biophys Res Commun.	Tsurutani Y	糖尿病・代謝・内分泌内科
Exp. Mol. Med.	Ceiling culture-derived proliferative adipocytes retain high adipogenic potential suitable for use as a vehicle for gene transduction therapy	Asada S, Bujo H, Saito Y	糖尿病・代謝・内分泌内科

計275/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Open Gene Ther. J.	Fibrin glue is a candidate scaffold for long-term therapeutic protein expression in spontaneously differentiated adipocytes in vitro	Aoyagi Y, Bujo H, Saito Y	糖尿病・代謝・内分泌内科
Mol. Genet. Metab.	Platelet-rich plasma inhibits the apoptosis of highly adipogenic homogeneous preadipocytes in an in vitro culture system.	Fukata Y, Bujo H, Saito Y	糖尿病・代謝・内分泌内科
Dement Geriatr Cogn Disord.	Disturbed apolipoprotein A-I-containing lipoproteins in fish-eye disease are improved by the lecithin:cholesterol acyltransferase produced by gene-transduced adipocytes in vitro.	Asada S, Bujo H, Saito Y	糖尿病・代謝・内分泌内科
Protein Pept. Lett.	Fibrin glue increases the cell survival and the transduced gene product secretion of the ceiling culture-derived adipocytes transplanted in mice.	Aoyagi Y, Bujo H, Saito Y	糖尿病・代謝・内分泌内科
Atherosclerosis	Ceiling culture-derived proliferative adipocytes are a possible delivery vehicle for enzyme replacement therapy of lecithin:cholesterol acyltransferase deficiency	Kuroda M, Bujo H, Saito Y	糖尿病・代謝・内分泌内科
Int. Immunol. 23:335-44, 2011.	Lack of B and T lymphocyte attenuator exacerbates autoimmune disorders and induces Fas-independent liver injury in MRL-lpr/lpr mice.	Oya Y, Watanabe N, Owada T, Oki M, Ikeda K, Suto A, Kagami S-I,	Department of Allergy and Clinical Immunology
Clin. Dev. Immunol. 305656, 2011	A functional polymorphism in B and T lymphocyte attenuator is associated with susceptibility to rheumatoid arthritis.	Oki M, Watanabe N, Owada T, Oya Y, Ikeda K, Saito Y, Matsumura R, Seto Y, Iwamoto I, Nakajima H.	Department of Allergy and Clinical Immunology
Int. Arch. Allergy Immunol. 155:s71-76, 2011.	STAT4 is required for IFN- β -induced MCP-1 mRNA expression in murine mast cells.	Iida K, Suzuki K, Yokota M, Nakagomi D, Wakashin H, Iwata A, Kawashima H, Takatori H, Nakajima H, Ikanashi K,	Department of Allergy and Clinical Immunology
J. Allergy Clin. Immunol. 128:1067-76, 2011.	IL-22 attenuates IL-25 production by lung epithelial cells and inhibits antigen-induced eosinophilic airway inflammation.	Hirose K, Kawashima S, Niwa Y, Wakashin H, Iwata A, Tokoyoda K, Renauld JC, Iwamoto I, Nakayama T	Department of Allergy and Clinical Immunology
PLoS One. 6:e25412, 2011.	Tumor suppressor p53 functions as a negative regulator in IgE-mediated mast cell activation.	Suzuki K, Murphy SH, Xia Y, Yokota M, Nakagomi D, Liu F, Verma IM, Nakajima H.	Department of Allergy and Clinical Immunology
Mod Rheumatol, 21:561-2, 2011.	A case of neuromyelitis optica with positive anti-Ro (SS-A) antibody presenting with intractable hiccup and nausea.	Koga S, Ikeda K, Nakagomi D, Mori M, Kuwabara S, Nakajima H.	Department of Allergy and Clinical Immunology
Clinical Neurophysiol	Operation of a P300-based brain-computer interface by individuals with cervical spinal cord injury	Ikegami S	脳神経外科
Front Neurol	Effect of the green/blue flicker matrix for P300-based brain-computer interface: An EEG-fMRI study.	Ikegami S	脳神経外科
Anticancer Res	Anaplastic oligodendroglial tumors harboring 1p/19q deletion can be successfully treated without radiotherapy.	Iwadate Y	脳神経外科

計289/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurooncol	Favorable long-term outcome of low-grade oligodendrogliomas irrespective of 1p/19q status when treated without radiotherapy.	Iwadate Y	脳神経外科
Skull Base	Craniofacial resection for sinonasal malignant tumors: Statistical analysis of surgical outcome over 17 years at a single institution.	Mine S	脳神経外科
J Neurosurg	Discrimination between low-grade oligodendrogliomas and diffuse astrocytoma with the aid of 11C-methionine positron emission tomography.	Shinozaki N	脳神経外科

計292/292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 宮崎 勝
管理担当者氏名	企画情報部長 高林 克日己 薬剤部長 石井 伊都子 医療安全管理部長 岡本 美孝 総務課長 中湖 博則 医事課長 阿尾 守己

	保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	各診療科 企画情報部 及び薬剤部 医事課（診療情報管理係）	診療録は、入院・外来別に一患者一ファイル方式により管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
	高度の医療の提供の実績	医事課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
	高度の医療の研修の実績	総務課
	閲覧実績	総務課
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項各号の九条の二十三の第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部及び医事課
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部及び医事課
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部及び医事課
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部及び医事課
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部及び医事課
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染症管理治療部
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部及び医事課
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部及び医事課

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染症管理治療部及び医事課
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染症管理治療部及び医事課
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染症管理治療部及び医事課
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染症管理治療部及び医事課
	各号及び	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部及び薬剤部
	第九条	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部及び薬剤部
	第二十三	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部及び薬剤部
	第一項	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部及び薬剤部
	に掲げる	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部及びME機器管理センター
	体制の	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部及びME機器管理センター
	確保の	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理部及びME機器管理センター
状況	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部及びME機器管理センター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 宮崎 勝		
閲覧担当者氏名	総務課長 中湖 博則	管理課長 一條 敬一	
	経営企画課長 加瀬 治信	医事課長 阿尾 守己	
閲覧の求めに応じる場所	会議室		

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	92.5 %	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	18,707	人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	12,816	人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	2,646	人
	D：初診の患者の数	24,129	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容： 医療機関における安全管理に関する基本的考え方 医療機関に係わる安全管理のための委員会等その他医療機関内の組織に関する基本的事項 医療に係わる安全管理のための職員研修に関する基本方針 医療機関における事故報告等の医療に係わる安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 医療事故発生時の対応に関する基本方針 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針（患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針を含む） 患者からの相談への対応に関する基本方針 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<p>・ 活動の主な内容： 安全管理体制の整備、安全管理のためのマニュアル整備 インシデントからの改善のための方策の検討 医療安全に関する教育及び職員研修の実施 院内における医療安全への取組みへの啓蒙</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8 回
<p>・ 研修の主な内容： BLS（AEDを含む）研修 医療事故防止セミナー（3回） せん妄セミナー（2回） ベストプラクティス発表会 病棟急変対応セミナー</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： インシデント事例に基づき、改善状況を院内ラウンドにて確認している。 各部署での医療安全対策についての取組みを「ベストプラクティス」として募集し、優秀な取組みに対して表彰を行っている。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（2名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（4名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<p>・ 所属職員： 専任（3）名 兼任（18）名 ・ 活動の主な内容： インシデント報告の収集・分析・具体的な改善策の提案及び現場へのフィードバックに関すること 医療安全のための研修の企画・運営に関すること 医療事故等の原因究明・関係する記録等の記載の確認・指導に関すること 医療事故防止・病院倫理委員会の庶務及びその他医療安全に係わる連絡調整に関すること その他医療安全対策に関すること</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<p>・ 指針の主な内容： 病院感染対策に関する基本的考え方 病院感染対策のための委員会 病院感染及び感染症に関する情報の共有 病院感染発生時の対応 病院感染対策のための研修等 基本指針の公表 マニュアル等の整備 その他の病院感染対策（国立大学病院感染症協議会、加算 1 連携病院及び千葉院内感染地域支援ネットワークとの連携）</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<p>・ 活動の主な内容： 院内講習会、針刺し対策、抗菌薬についての検討、インフルエンザワクチン接種、内視鏡ラウンド、蓄尿・尿カテーテル調査、リンクドクター・ナース会議、病原菌報告、職員のウイルス抗体・ワクチン接種、新型インフルエンザ対策、実習生の感染管理教育、多剤耐性菌対策、蓄尿の減少、サーベイランス結果と対策（ベンチレータ関連肺炎、術後感染症、カテーテル関連血流・尿路感染症）</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の主な内容： 「病院感染対策の基本」 ～標準予防策と環境整備、蓄尿の見直し～ 外部講師 抗菌薬適正使用 βラクタム系 抗菌薬の適正な使用方法について 講師 小児科医師 消毒薬の選び方 -MRSA及びMDRPも含めて- 外部講師 ICTマニュアル 第3版 ～改訂のポイント～ 感染症管理治療部職員</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ((有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 各部門にリンクドクター・ナース・スタッフ（メーリングリストで直接連絡） インフルエンザ発生時の原因分析・対策立案・職員等への周知及びワクチン接種、 ICTによる院内巡視（週 1 回） ICTによるMRSA、緑膿菌、ジフィシル菌、血流感染のチェックと指導（最低週 1 回）</p>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3回
<p>・ 研修の主な内容： 抗がん剤の取扱いについて（兼：研修医ガイダンス） 注射剤の無菌調製および暴露防止のために ー安全キャビネットとはー（兼：医療事故防止セミナー） 注射薬について ー注射薬の特徴と取り扱い上の注意点ー（兼：看護部新採用者早期研修）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （有・無） ・ 業務の主な内容： 医薬品の採用・購入手続きに基づいた薬事委員会の開催及び適正購入の実施 医薬品の購入及び麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬、特定生物由来製品等の適正管理の実施 患者に対する安全な医薬品供給のための調剤、交付、過誤防止、薬剤管理指導等の実施 医薬品情報の収集および提供の実施 実施状況の確認 等</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理に係る内容の見直し及び医薬品安全管理のための業務手順書の順次改訂と院内への周知徹底 医薬品安全使用のための情報提供方法の工夫（薬事委員宛のメールによる通知、ホームページへの掲載 使用患者・処方医を特定し個別に情報提供、処方入力時の注意喚起メッセージ表示、オーダーリングシステムからも参照可能なイントラネットを利用した情報提供）</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 1 2 回
・ 研修の主な内容： 人工呼吸器・輸液・シリンジポンプ・閉鎖式保育器・血液浄化装置・人工心肺及び補助循環装置・除細動器・放射線装置の安全使用講習会・リニアック・アフターローディング 等	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 ((有)・無) ・ 保守点検の主な内容： 生命維持管理装置 (人工心肺および補助循環装置・人工呼吸器・血液浄化装置・徐細動器・閉鎖式保育器・放射線装置) 当院で定めた機器 (輸液・シリンジポンプ・フットポンプ・生体情報モニタ 等)	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 機器管理を主たる業務とする臨床工学技士を配置し、院内の安全管理部員を兼任とすることで、院内で起こった医療機器に関するインシデント等に早急に対応、安全管理部との共同配信文書として院内へ配信することができる。 また、全体で行う院内講習会のほか、インシデント発生等の際には原因を究明し、部署別・事例別の講習会を開催し、再発防止に努めている。	